

令和3年度第1回北広島市図書館協議会議事録

日 時	令和4年3月17日(木) 18時30分開会
会 場	図書館2階 AVサロン
出席委員	北川委員・正木委員・工藤委員・穴澤委員・小島委員・塚田委員・松本委員 佐賀委員・佐藤委員
欠席委員	川越委員
市出席者	笹森課長・新谷館長・蛭名主査・太田主任・佐藤主事・大川司書

【事務局】

ただ今より、令和3年度第1回北広島市図書館協議会を開催いたします。

本日は、委員9名の出席ですので、規定の過半数を超えており、本日の会議は成立していることをご報告いたします。

また、本来でしたら、会長に進行をいただいておりますが、昨年の退職に伴い、委員の交代がありましたため、途中まで事務局で進行させていただきます。

なるべく短い時間で有意義な会議にしたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

図書館協議会の開催につきましては、通常2月に開催しておりますが、まん延防止期間の最初の時期にあっていたことから様子を見ながらの開催とさせていただいたため、本日の開催となってしまいました。開催を含め、ご連絡等が遅くなりましたことをこの場でお詫びいたします。

また、昨年4月に、西部小学校学校長、北広島西高校学校長の異動、星槎道都大学の先生の退職に伴い、委員の交代がありましたことをご報告させていただきます。現在の皆様の任期につきましては、9月30日までとなっております。引き続き、よろしくお願いいたします。

では、委員の皆さんに自己紹介をお願いいたします。名簿の順に所属、お名前など簡単にお願いたします。

(自己紹介)

【事務局】

会長についてですが、事務局案としまして、佐藤さんに会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

【事務局】

では、会長の佐藤さんに「3 報告案件」からの進行をお願いいたします。

【会長】

それでは会議次第に従いまして、議事を進めさせていただきます。3の報告案件の(1)の令和3年度北広島市図書館利用状況から事務局の報告をお願いします。

令和 3 年度第 1 回北広島市図書館協議会議事録

【事務局】

令和 3 年度北広島市図書館利用状況について説明いたします。令和 3 年度につきましても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言の出ている 5 月 18 日から 6 月 20 日までと 9 月 1 日から 9 月 30 日までの合わせて約 2 か月間臨時休館いたしました。今年度の臨時休館期間では、長期期間の休館となり、市民の読書への関心も高く、貸出要望も多かったことから、本館入口の臨時カウンターと地区図書室で、市民に限定した本の予約受取サービスを実施しました。6 月は 2,804 冊、9 月は 5,584 冊の貸出がありました。現在もカウンターの飛沫防止ビニールの設置、マスクの着用・消毒のお願い、閲覧席の利用の制限など、感染拡大防止策を取りながら開館している状況です。全体としては、数字が落ち込んでいるように見えますが、臨時休館による影響となっております。

「1. 貸出の状況」についてですが、年度途中であるため、昨年度との比較から 4 月から 1 月までの数字を載せています。全体の貸出冊数は、昨年度比全館で 24,506 冊減少、7.8%減少となっておりますが、開館日数で一日の貸出数を比較したところ、令和 2 年度一日あたり 1,461 冊貸出に対して令和 3 年度は 1,508 冊となっておりますので、単純に休館中の数字で貸出の減少が表れています。ということから、開館中の利用については、多く利用されていることがわかりました。

次に「2. AV コーナーの利用状況」についてですが、こちらも利用制限の関係から過去の利用と比較するのは難しいですが、AV ブースの利用とインターネット端末の利用については、利用できる状況にある時はそれぞれ利用されている状況となっております。また、(3) 上映会につきましては、現在も上映会を中止しています。

続きまして、「3. 予約処理の状況」についてですが、(1) 予約受付件数では、カウンター窓口での受付件数を記載しています。今までお話をさせていただいたとおり、臨時休館が長かったにもかかわらず、1 月末までの合計は 54,202 件となっており、貸出利用数が減少しているのに反しまして、予約は 3,692 件増えています。web からの予約が半数以上を占めており、コロナの影響による増加かと考えられます。本を読みたいが、窓口では長時間になるので、敬遠された形が予約数にも反映された形となっております。

最後の写真につきましては、現在開催している展示「りぶる POP コンテスト 2021」の展示の様子です。おすすめ本を紹介した POP を募集し、市内小学校 284 作品、中学校 293 作品、一般 28 作品から全国に 83 作品選出した結果の優秀作品を紹介している展示です。お時間がありませんでしたら、お帰りの際にご覧いただけたらと思います。

今年度の最終的な統計がまとまりましたら、委員の皆様にお知らせさせていただく予定です。図書館の報告につきましては、以上となります。

【会長】

ただ今、事務局より令和 3 年度北広島市図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしくお願いたします。

【会長】

意見がないようですので、(2) の令和 3 年度学校図書館利用状況について事務局から説明を

令和3年度第1回北広島市図書館協議会議事録

お願いします。

【事務局】

令和3年度学校図書館利用状況についてご説明いたします。3ページをご覧ください。市内の小中学校の学校図書館で貸出された冊数を年度別・学校別にまとめています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学級・学年閉鎖が相次ぎましたが、昨年度のように全市一斉臨時休校にはならなかったため、貸出数は小中学校ともに全体的に増加しています。

その中で、まちなか司書が巡回している大曲小学校と大曲東小学校につきましては、貸出冊数がデータで統計を取り始めてから一番多くなっています。東部小学校につきましては、貸出冊数の上限が今年度から2冊から3冊に増えました。また、すべての小学校では、豆次郎の利用もありまして、統計に反映されていない部分でも、子どもたちはたくさん読書をしています。

中学校につきましては、東部中学校の貸出冊数の上限が3冊から5冊に増えました。また、すべての中学校に学校司書が隔週で巡回しており、生徒のリクエストの要望に細かく対応することで、読書好きな生徒が変わらずに図書室に足を運んでいます。授業や行事で使用する図書を集めて貸出するなど、コロナ禍でも学校図書館は多く活用されています。

次に4ページをご覧ください。学校図書センターの取り組みの中で、主なものきたひろブックキャラバンについてご説明いたします。

今年度は、双葉小学校・大曲小学校・大曲東小学校の3校で開催予定でしたが、双葉小学校は緊急事態宣言により、9月の開催が中止となりました。大曲小学校につきましては、10月に初開催、大曲東小学校は11月に3回目の開催となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校と相談し、読み聞かせは中止、1校時ごとに1学年の実施、体育館の窓やドアを開け換気するなどの対策を取りながら行いました。

北広島市図書館のカードで1人3冊まで貸出ができ、2校とも、持ち込んだ児童書約2,000冊のうち6~7割が借りられ、1人あたり2.7冊~2.9冊の貸出となりました。

キャラバン中の児童の様子は、説明を聞いている間も自分の近くに置いてある本に目を向けて、スタートと同時に素早く目当ての本を手取る姿も見られました。貸出が終わった児童は、借りた本やゴザに置いてある本を読み始める姿も多く見られました。

最後に児童からの感想で、読んだことのない本がたくさんあって面白かった、3冊以上借りたかった、これからもたくさん読書をしたい、などの声があがりました。児童にも教員にも好評で、来年度も3校から開催の希望があがっています。他の小学校に対しては、学校図書センター通信にキャラバンの記事を掲載し、情報発信しています。

学校図書館の報告については、以上になります。

【会長】

令和3年度学校図書館利用状況に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がありますか。

【会長】

令和3年度第1回北広島市図書館協議会議事録

意見がないようですので、(3)の地域まるごと読書支援モデル事業の報告について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

地域まるごと読書支援モデル事業について報告いたします。

幼児期からの読書活動の推進として、子育て世代の多い大曲地区を対象に、まちなか司書1名を配置しています。

主な業務としては、先ほど説明がありましたように、大曲にある2つの小学校図書館に隔週巡回、また、大曲4園の保育園・こども園に対して、毎週決まった曜日に一日1園巡回を行い、在園児への読み聞かせを行っています。

各園の読み聞かせ状況につきましては、4ページ(2)の1の表をご覧ください。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度よりも読み聞かせを休止する園、休止する期間が多くありました。コロナ以前の動きに戻るには、しばらく時間がかかると思いますが、継続して行ってまいりたいと思います。

一方、園での本の受け渡しができる家読パック「こつぶ」は、コロナ禍でも休止することなく、配本を実施することが出来ました。

登録率についても、開始年は25%だったのに対し、2年目以降は、37.8%で推移しており、こつぶの安定した利用が見られます。

現在、利用者に対して利用アンケート調査を実施中であり、今後、結果を分析し、サービスの向上につなげてまいりたいと思います。

地域まるごと読書支援モデル事業としましては、以上となります。

【会長】

地域まるごと読書支援モデル事業に関する報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がありますか。

【会長】

意見がないようですので、(4)の令和4年度予算案の概要について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

令和3年度および令和4年度の北広島市図書館及び学校図書センターの予算案概要を説明いたします。

5ページをご覧ください。こちらは令和4年度図書館運営経費および学校図書館活用事業にかかる予算案を令和3年度予算と並べて載せております。令和4年度予算については一部を除き、令和3年度予算から現状維持の内容で予算要求をしております。

このうち、委託費は現在の委託契約により約30名のスタッフに要する費用となります。現行の契約が令和3年度をもって満了となるため、新たに令和4年度から3年間の契約にかかる準備を進めているところです。こちらの委託契約において査定されている予算案が図書館運

令和3年度第1回北広島市図書館協議会議事録

営費及び学校図書館活用事業合わせて年間959万円増となっております。

また、昨今の燃料費の高騰に伴い、需用費も微増で要求しております。

現在、開会中の議会の議決をもって予算が確定いたします。

その他、お気づきの点やご質問等ございましたら、ご説明をいたします。

【会長】

ただ今、事務局より報告がありましたが、以上の説明に対し、質問や意見等がございましたら、よろしく願いいたします。

【会長】

意見がないようですので、「4 質疑・意見交換」ということで、全体を通して何かありませんか。

【会長】

それでは、「5 その他」で何かある方いらっしゃいませんか。

【事務局】

事務局から、皆さんへ2点ご報告がございます。

1点目、図書館総合展という全国大会があるのですが、その事業の一つにレファレンス大賞というものがございます。その中で、昨年度、北広島市図書館にて取り組みました「小学校社会科副読本の電子化」が奨励賞をいただきました。レファレンスとは、学習支援において利用者の質問に対してお答えするサービスですが、この社会科副読本の電子化は、質問を受ける前に、予め回答を用意できる仕組みなので、レファレンスの新しい可能性を評価され受賞に至りました。

2点目、本会資料にもありますPOPコンテスト作品の展示についてですが、明日(3/18)の午後6時50分あたりの「ほっとニュース北海道」の放送内にて写真を用いて紹介される予定となっております。

【会長】

ご報告ありがとうございます。その他、皆さんから何か確認事項等ございませんか。

無いようなので、以上をもちまして、令和3年度第1回北広島市図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。

会議録署名委員 北川 由合子